



斜面災害から
暮らしを守るために、
協会では様々な活動に
取り組んでいます



一般社団法人

斜面防災対策技術協会

協会の活動と 地すべり防止工事士



JASDiM

Japan Association for Slope Disaster management

一般社団法人

斜面防災対策技術協会 について



協会の役割

私たちの国土は、急峻な地形・複雑な地質・脆弱な地盤などから斜面災害が発生しやすい環境にあります。加えて、降水量は世界平均の約2倍にも及び、斜面の不安定化にさらに拍車をかけています。

こうした現象は発生して初めてわかることが多く、いまだ完全に予測することはできません。また、災害の発生を未然に防いだり、発生後にその動きを止めるための対策工事の工法も実績を積み重ねている段階で完全に研究しつくされたとはいえません。今も、調査や対策工事を専門としている人たちが協力して、新しい、より確実な技術の研究や開発を重ねています。

私たち一般社団法人斜面防災対策技術協会は、地すべり、がけ崩れ、雪崩等の斜面防災に関係する技術を向上させることと同時に、斜面防災対策事業の重要性を広く皆さんに理解してもらうための普及と促進に協力しています。

斜面防災対策技術の資格制度として、昭和59年に協会独自に「地すべり防止施工管理士」制度が創設され、昭和63年には建設大臣認定「地すべり防止工事士」制度へ、平成18年6月からは国土交通大臣「登録地すべり防止工事試験」制度へと進展してきました。平成27年度末現在約4,100名の地すべり防止工事士が斜面災害を防止するため、あるいは斜面環境を保全するため、豊かな経験と確かな知識・技術を駆使して全国で活躍しています。

協会の事業

事業の発展と普及啓発
のための広報

会誌・図書の発行、
講演会の開催

斜面防災技術の進歩改善
のための調査・研究

技術図書の編さん、
日本地すべり学会との協定

技術者の育成支援

登録地すべり防止工事試験
資格制度の実施運営、
研修会の開催

国土の保全と
国民生活の安心・安全

当協会は、会員相互の協力によって斜面防災事業の健全な発展と対策事業の普及、促進に協力し、国土の保全と国民生活の安心・安全に寄与することを目的として以下の事業を推進しています。

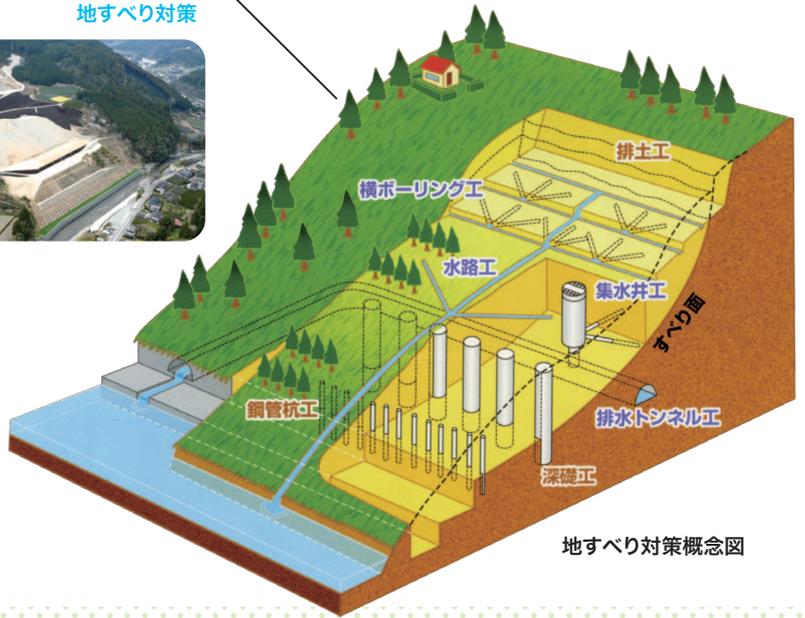
- 1 斜面防災対策技術の進歩改善に関する調査及び研究
- 2 斜面防災対策事業の発展と普及啓発のため、会誌、図書その他印刷物の刊行
- 3 斜面防災対策技術に関する研修会、研究会及び講演会等の開催
- 4 登録地すべり防止工事試験実施、登録及び証明に関する事業
- 5 国際会議、学会その他本協会の目的に適合する団体への協力及び参加
- 6 その他本協会の目的を達成するため必要な事業

協会の取り組み

一般社団法人斜面防災対策技術協会では、斜面防災対策事業にかかる普及啓発活動に協力しています。

地すべり対策事業

地すべり対策

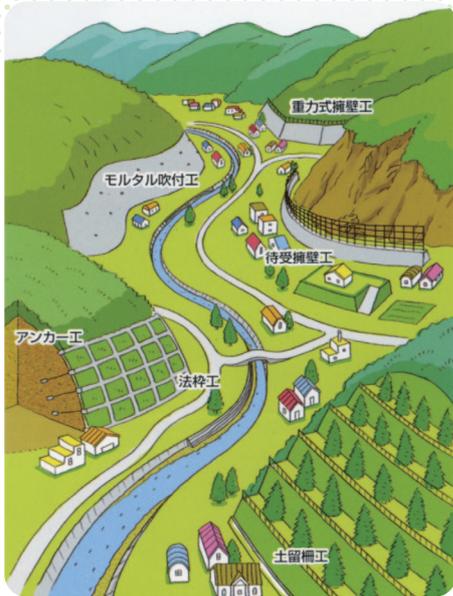


地すべり対策概念図



地すべり災害

がけ崩れ(急傾斜地崩壊)対策事業



がけ崩れ対策概念図



がけ崩れ対策

がけ崩れ災害

雪崩対策事業



雪崩対策概念図



雪崩災害

事業活動

斜面防災対策技術の進歩改善に関する活動

- (公社) 日本地すべり学会との協定 (熊本地震災害合同調査等)
- 災害復旧復興支援
- 国・県との災害協力協定 (立山砂防・富山県・新潟県等)
- 技術参考図書の編集作成

事業の発展普及に関する活動

- 会誌発行 (斜面防災技術)
- 図書その他印刷物の刊行
- 講演会の開催
- 技術フォーラム
- 訪問学習
- 砂防技術指針等作成時の聴聞
- 建設功労者、優秀施工者等の推薦
- 発注機関の催しの後援、助成

技術者の育成支援に関する活動

- 国土交通大臣登録地すべり防止工事試験の実施 (試験問題作成・一次・二次・合否判定)
- 地すべり防止工事試験講習 (地すべり防止工事士会) の支援
- 地すべり防止工事士資格運営 (登録及び証明に関する事業・技術講習会)
- 国土交通省「公共事業に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術資格登録」への登録 (地すべり・急傾斜・地質土質)
- 研修会の開催 (地すべり防止技術：建設研修センター)
- 講習会の開催 (地すべり防止工事士技術講習、各支部技術講習)

会員数

正会員

225 企業

賛助会員

16 企業・団体

年間活動カレンダー

5月
上旬

(4日間)

地すべり防止技術研修

主催：(一社) 斜面防災対策技術協会
(一財) 全国建設研修センター
後援：国土交通省

6月
中旬

国土交通大臣登録 地すべり防止工事試験

一次
試験

札幌・仙台・東京・新潟・富山・金沢・
長野・静岡・名古屋・大阪・岡山・高松・
福岡

9月
上旬

国土交通大臣登録 地すべり防止工事試験

二次
試験

原則として東京・大阪・福岡

10月
上旬

土曜日

6月
下旬

「地すべり防止工事士」 技術講習会

札幌・仙台・東京・新潟・富山・金沢・
長野・静岡・名古屋・大阪・岡山・高松・
福岡

8月
上旬

10月

11月

斜面防災対策技術フォーラム

開催実績は p5 を参照

年3回

協会誌「斜面防災技術」の発刊

4、8、12月



④ [技術フォーラム] 開催状況

	開催年度	開催地	特別講演
フォーラム'16	平成28年度	金沢市	百万石の大名行列と北陸新幹線 ▶ 東四柳 史明(金沢学院大学名誉教授) 県土を護る斜面防災 ▶ 川村 國夫(金沢工業大学教授)
フォーラム'15	平成27年度	高松市	豪雨及び地震による深層崩壊 ▶ 千木良 雅弘(京都大学防災研究所教授) 斜面对策工の維持管理技術 ▶ 榎田 充哉(斜面防災対策技術協会地すべり維持管理マニュアル編集出版委員長)
フォーラム'14	平成26年度	札幌市	国土を保全する ▶ 南 哲行(北海道大学国土保全学研究室特任教授)
フォーラム'13	平成25年度	長野市	長野県北部地震による被害と復旧・復興 ▶ 島田 茂樹(長野県栄村村長)
フォーラム'12	平成24年度	福岡市	斜面防災と産官学連携 ▶ 宜保 清一(放送大学沖縄学習センター長)
フォーラム'11	平成23年度	富山市	「列島強靱化」における日本海側諸都市の役割 ▶ 藤井 聡(京都大学都市社会工学専攻教授)
フォーラム'10	平成22年度	仙台市	斜面を見る技術を創る工夫 ▶ 宮城 豊彦(東北学院大学教養学部教授)
フォーラム'09	平成21年度	東京都	技術開発への道 ▶ 森山 裕二(国土交通省砂防部保全課長)
フォーラム'08	平成20年度	東京都	小さな被害に大きな教訓～土砂災害防止ソフト対策の課題～ ▶ 藤吉 洋一郎(大妻女子大学教授・元NHK解説委員)
フォーラム'07	平成19年度	松江市	出雲という国 ▶ 藤岡 大拙(NPO法人出雲学研究所理事長・荒神谷博物館長)
フォーラム'06	平成18年度	新潟市	地域の絆が防災へつながる～中越大地震を教訓として～ ▶ 長島 忠美(衆議院議員)

協会の発行物



斜面対策工維持管理実施要領
 点検・詳細調査編 (2分冊)
 長寿命化及び機能回復手法
 (計画・設計・施工計画)・歩掛編
 (平成28年度版)



**いつでも、どこでもすべりに
役立つ地すべり観測便覧**
 (平成24年度改訂版)



**地すべり対策技術
設計実施要領**
 (平成19年度改訂版)



地すべり鋼管杭設計要領
 (平成15年度版・27年度増刷)



**地すべり対策により生じた
地下水利用のための手引き**
 (平成8年度版)



**地すべり防止技術
研修テキスト**
 (平成20年度版・28年度増刷)

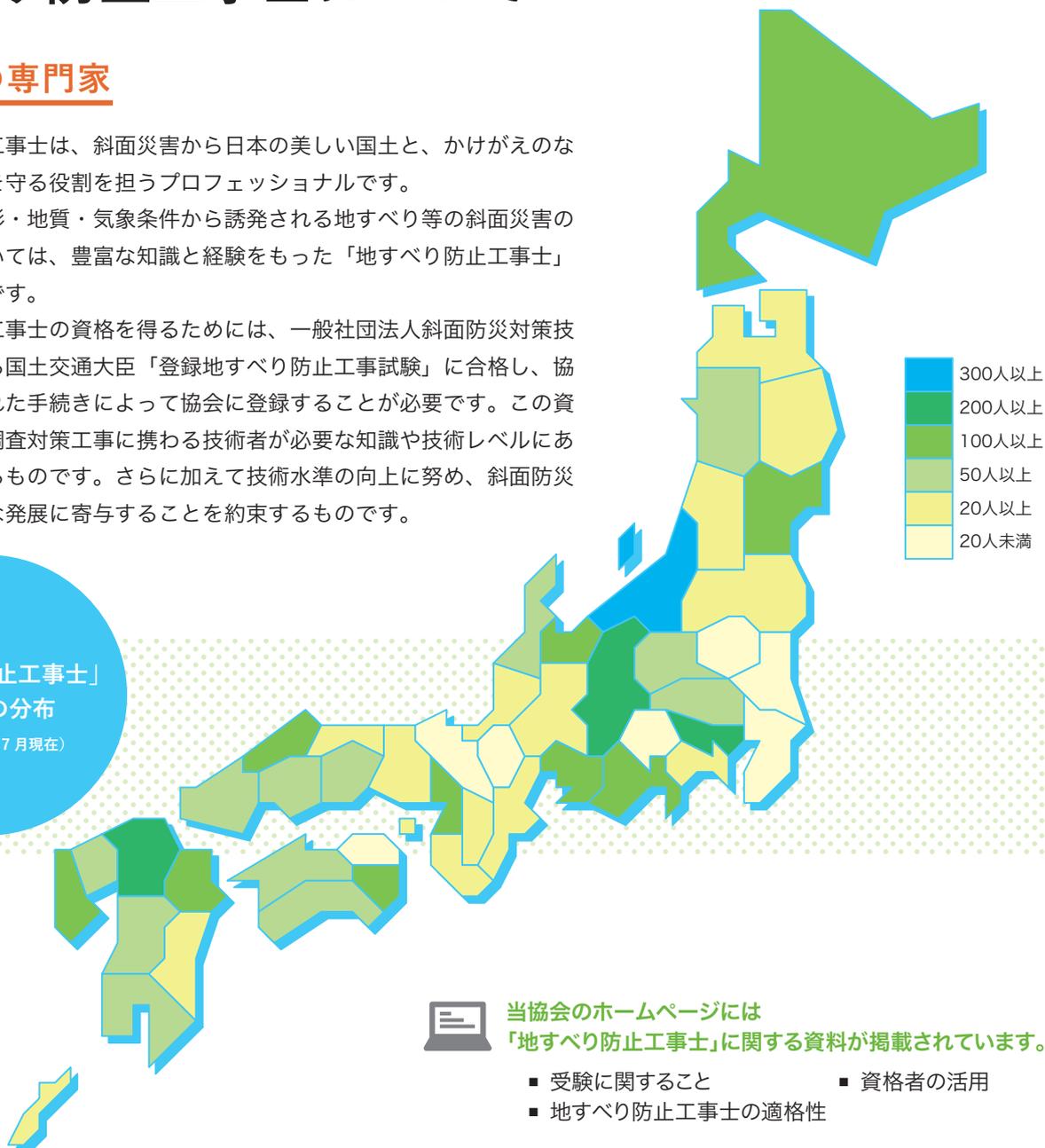
地すべり防止工事士について

斜面防災の専門家

地すべり防止工事士は、斜面災害から日本の美しい国土と、かけがえのない生命及び財産を守る役割を担うプロフェッショナルです。

国土固有の地形・地質・気象条件から誘発される地すべり等の斜面災害の予防と対策については、豊富な知識と経験をもった「地すべり防止工事士」の活躍が不可欠です。

地すべり防止工事士の資格を得るためには、一般社団法人斜面防災対策技術協会が実施する国土交通大臣「登録地すべり防止工事試験」に合格し、協会規定に定められた手続きによって協会に登録する必要があります。この資格は、地すべり調査対策工事に携わる技術者が必要な知識や技術レベルにあることを証明するものです。さらに加えて技術水準の向上に努め、斜面防災対策事業の健全な発展に寄与することを約束するものです。



当協会のホームページには「地すべり防止工事士」に関する資料が掲載されています。

- 受験に関すること
- 資格者の活用
- 地すべり防止工事士の適格性

資格取得までの流れ

● 受験資格

「登録地すべり防止工事試験」の受験資格は、地すべり防止工事等に関する5年以上の実務経験を有する者です。この実務経験には1年以上の指導監督的実務経験年数を必要とします。

● 過去の試験問題

毎年度発行の「斜面防災技術」に掲載しています。
*本協会HPでは、「(当協会) 会員専用ページ」より過去の問題を入手できるとともに、過去問題から選択した問題を応答形式で回答するシステムによって受験勉強ができるようになっています。

● 受験のすすめ

当協会では受験者のために研修テキストを頒布しています。試験要領についてはHPのほか主要官庁及び会員にポスター等でお知らせしています。受験に関する詳細及び不明な点については協会本部・支部までお問い合わせ下さい。

「登録地すべり防止工事試験」



一次試験(択一試験(基礎・専門)体験記述
(年1回、全国13箇所で開催)……6月中旬)



二次試験(年1回、原則東京・大阪・福岡で開催)
……9月上旬～10月上旬



合格証明書交付……11月上旬



斜面防災対策技術協会への登録により
「地すべり防止工事士」となる。



地すべり防止工事士の資質向上のための
講習の受講(5年に1回、原則全国13箇所で開催)

資格の更新

地すべり防止工事士の活用のメリット

地すべり防止工事士は、豊富な経験に裏づけられた技術により斜面災害のあらゆる段階での対応が可能であり、安全性、経済性からも大きな役割を果たします。

緊急、迅速な対応

- 突発的な斜面災害に求められる応急対策において、監視計画の立案と実行、地質や地下水状況をも含む周辺環境への影響を踏まえた応急工事の計画と実行が可能です。
- 周辺の自然環境を把握することが習慣づけられていることから施工中の地下水や地質の変化への対処がスムーズで安全管理に貢献できます。

適切な調査計画

- 地すべりの基本を熟知しているため調査計画の適切な配置を立案することが可能であり、経済的でスムーズな調査を遂行できます。

適切な変更提案

- 設計図書と現地の状況を地すべりという観点から再検討できるため、当初計画の内容と目的に沿った適切な処置が迅速になされ、工期の短縮が計れます。
- 当初計画に関わらず、地すべりの挙動に応じた適正かつ効果的な対策工の提案を随時行うことができます。

安全かつ経済的な施工

- 地すべり機構及び特異性を把握しているため、発注者との打ち合わせ協議、現場施工中の観測体制および施工順序など、工事の進め方についても安全で経済的な施工が可能です。

地すべり防止工事士資格の活用実績

●地すべり防止工事士は営業所の専任技術者として認定されます。

建設業法第7条第2項では、建設業者は営業所ごとに建設工事に関する一定の資格又は経験を有する技術者を置かなければならないことになっています。「とび・土工事業」及び「さく井事業」では、登録地すべり防止工事試験合格者で合格後1年以上の当該工事の実務経験を有する者を営業所の専任技術者とすることができます。

●地すべり防止工事士が所属する会社は経営事項審査の評価点の対象となります。

建設業許可業種区分の「とび・土工・コンクリート」及び「さく井」では、地すべり防止工事士が所属している会社の経営事項審査において評価点の対象となります。

●地すべり防止工事士は国土交通省より斜面防災対策調査、設計業の技術者として登録されています。

国土交通省は「公共事業に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程」に基づく技術者登録資格に、地すべり防止工事士を以下の施設分野、業務の技術者として登録しています。

公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録

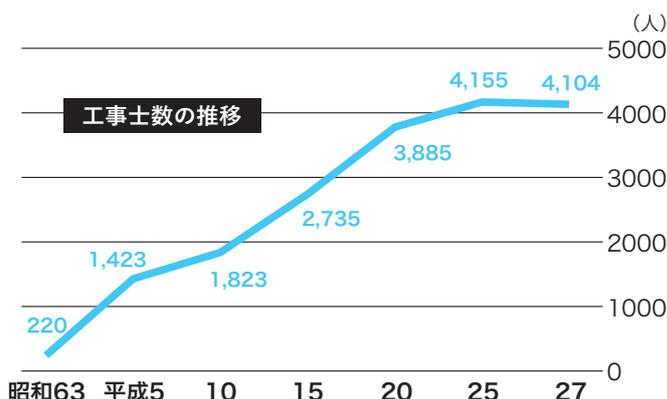
登録番号	資格が対象とする区分			
	資格	施設分野	業務	知識・技術を求める者
品確技資 第3号	地すべり防止工事士	地すべり防止施設	点検・診断	管理技術者
品確技資 第59号	地すべり防止工事士	急傾斜地崩壊防止施設	点検・診断	管理技術者
品確技資 第108号	地すべり防止工事士	地質・土質	調査	管理技術者又は主任技術者
品確技資 第123号	地すべり防止工事士	地すべり対策	計画・調査・設計	管理技術者・照査技術者
品確技資 第125号	地すべり防止工事士	急傾斜地崩壊等対策	計画・調査・設計	管理技術者・照査技術者

この登録により地すべり防止工事士を斜面防災対策事業の調査や設計さらには対策工事に従事させることを義務付けたり、担当技術者の資格要件としている発注機関もあります。

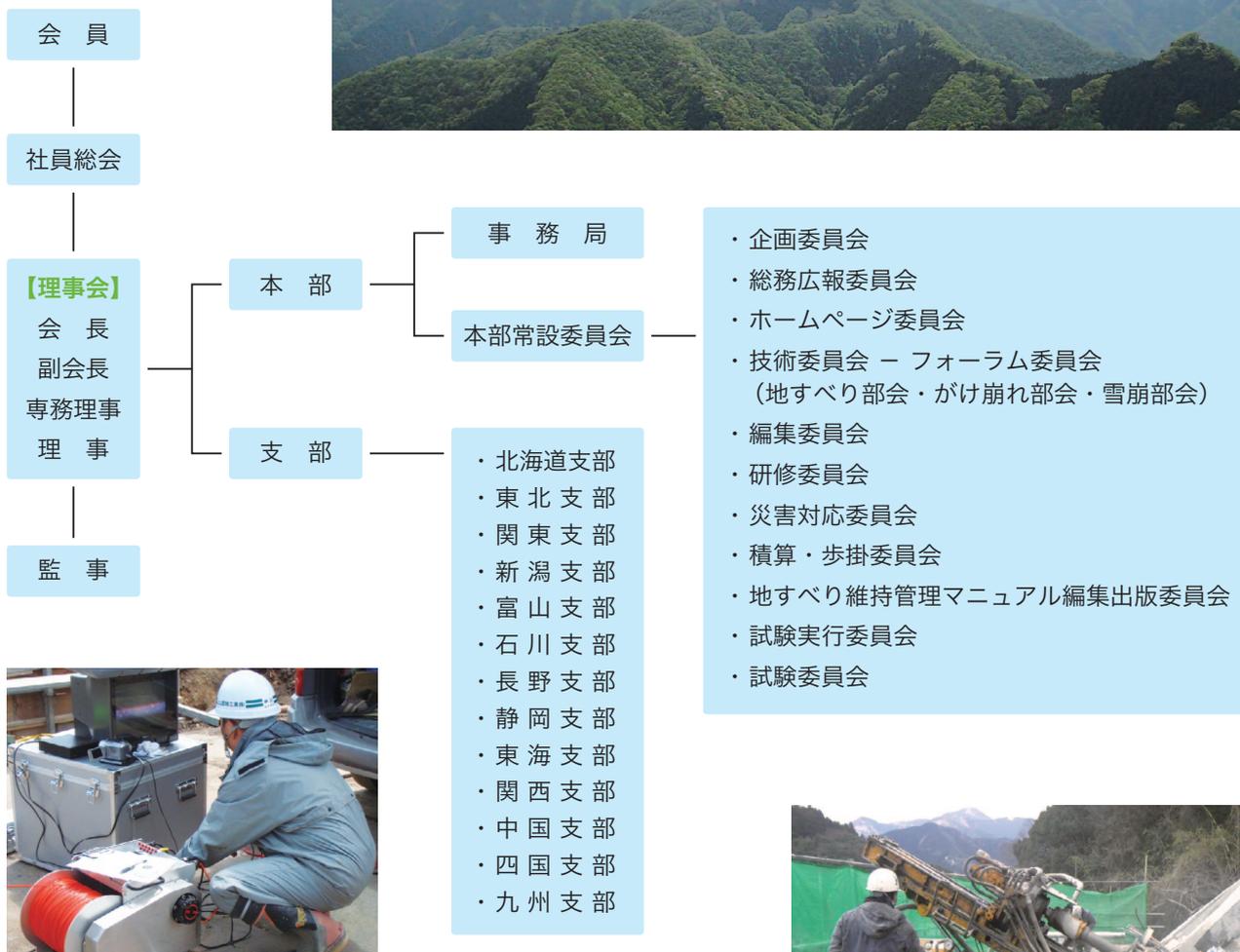
●地すべり防止工事士は発注条件によっては有利になる場合があります。

国土交通省では地すべり防止工事士を総合評価落札方式で加点評価するなどして資格保有者の活用を図っています。

今後は各発注機関においても地すべり防止工事士の積極的な活用が期待されています。



協会組織図



協会のあゆみ

1974年(昭和49年) 1月 30日	任意団体 地すべり対策技術協会発足
1978年(昭和53年) 9月 27日	建設大臣の許認可を得て社団法人設立
1984年(昭和59年) 5月 13日	「地すべり防止施工管理士」資格検定試験開始(昭和62年まで)
1988年(昭和63年) 7月 28日	建設大臣認定「地すべり防止工事士」資格認定試験制度発足
2005年(平成17年) 9月 21日	「社団法人斜面防災対策技術協会」へ名称変更
2006年(平成18年) 6月 1日	国土交通大臣「登録地すべり防止工事試験」実施機関登録
2013年(平成25年)11月22日	一般社団法人斜面防災対策技術協会に移行
2014年(平成26年) 5月 30日	(公社)日本地すべり学会と調査・研究等の共同の協定
2015年(平成27年) 1月 26日	公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録【点検・診断業務(地すべり防止施設)】
2016年(平成28年) 2月 24日	公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録【点検・診断業務(急傾斜地崩壊防止施設)、調査業務(地質・土質)、計画・調査・設計業務(地すべり対策、急傾斜地崩壊等対策)】